

併願
可能

公募制推薦入試 後期日程

他学部・学科併願制度 p.05 第二志望制度 p.06 入学検定料 p.07 出願資格 p.34

試験日	出願期間	合否発表日	入学手続期間
12/15 ^(火)	11/20 ^(金) —12/7 ^(月) ※当日消印有効です。	12/26 ^(土)	一括 12/26 ^(土) —1/18 ^(月) 分割 1次: 12/26 ^(土) —1/18 ^(月) 2次: 12/26 ^(土) —2/4 ^(木)

※入学手続は「一括手続」または「分割手続」のいずれかを選択できます。

「試験地」

試験日	大阪(寝屋川キャンパス)
12/15 ^(火)	●



総合評価型と
基礎評価型の併願で
合格のチャンスがUP!

POINT

01 互いに併願できる2つの評価型

総合評価型

- 適性検査の得点に調査書の「全体の学習成績の状況」を10倍した高校成績点(50点満点)を加点し、面接得点(薬学部と看護学部のみ)で合否を判定します。
- 高校等での諸活動や取得資格を諸活動・資格点として、最大25点まで加点します。 p.12

併願
可能

基礎評価型

- 調査書を得点換算せず、適性検査の得点、面接得点(薬学部と看護学部のみ)で合否を判定します。
- 英語資格等保持者優遇制度(みなし得点制度)が利用できます。(薬学部を除く全学部[国際学部独自方式を除く]) p.11

※1 それぞれの評価型は「高得点科目重視方式」のみで実施します。

※2 いずれの評価型も「入学希望理由書」(点数化なし)を含めて総合的に合否を判定します。

02 NEW 国際学部独自方式について

- 「基礎評価型」の国際学部「国際学部独自方式」を新設します。
- 「英語」のみで合否を判定します。 **英語 100点**

【注意】適性検査を2科目受験しなかった場合は、合否判定の対象としません。
「他学部・学科併願制度」「みなし得点制度」は対象外となります。

03 得意科目を生かせる

- 受験した2科目のうち高得点科目を200点満点に換算して合否判定します。得点換算は本学で自動的に行うため、事前申告は不要です。(同一学部・学科のみ)

04 合格のチャンスが広がる

- 他学部・学科併願制度を利用できます。 p.05
- 理工学部は、学科の第二志望制度を利用できます。 p.06



05 前期日程の合否確認後に後期日程の出願が可能

昨年度、後期日程合格者のうち
45%は前期日程不合格者でした。
前期日程が不合格でも諦めずに
再チャレンジするのが
年内合格の力!



[CHECK!]

併願で合格のチャンスがUP!

- 公募制推薦入試 後期日程の「総合評価型」と「基礎評価型」の併願や、国際学部を志望される方は「国際学部独自方式」を併願することで合格のチャンスがアップします。

[CHALLENGE!]

特別奨学生チャレンジ制度

- 公募制推薦入試 後期日程に合格し、入学手続を完了した方は特別奨学生チャレンジ制度が利用できます。 p.09



「選考方法」

- 可否の判定は、評価型・入試方式ごとに行います。
 - 受験した2科目のうち、高得点科目を200点満点に換算します。得点換算は本学で自動的に行うため、事前申告は不要です。（「高得点科目重視方式」）
 - 「基礎評価型」の国際学部には英語のみで可否を判定する「国際学部独自方式」を導入します。※「他学部・学科併願制度」「みなし得点制度」は対象外です。
 - 入学希望理由書^(※)を含めて総合的に可否を判定します。
- (※)・志願者本人が摂南大学への入学希望理由を200～300文字程度で入力してください。
 ・入学希望理由書は、出願時にインターネット出願内の所定フォームに入力してください。
 ・「前期・後期日程」「評価型」「入試方式」や「他学部・学科」を併願する場合でも、1回の入力で全てに適用されます。学部・学科等ごとに入力する必要はありません。

併願可 (同一学部・学科)	入試方式	総合評価型					事前課題	可否判定
		必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		
基礎評価型	法学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}	入学希望理由書(点数化はしません)	可否判定
	国際学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
	経済学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
	経営学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
基礎評価型	現代社会学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
	理工学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
	農学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
	薬学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
基礎評価型	看護学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
	国際学部	併願可	国際学部独自方式	適性検査1科目	英語	※適性検査を2科目受験しなかった場合は、可否判定の対象としません。		可否判定
	経済学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定
	経営学部	必須	高得点科目重視方式	適性検査2科目	高校成績点 ^{※1}	諸活動・資格点 ^{※2}		可否判定

※1 高校成績点: 調査書の「全体の学習成績の状況」を10倍。 ※2 諸活動・資格点: 諸活動・取得資格調書に記載の内容を点数化。

「面接の形式等」 ●薬学部 ●看護学部

形式	グループ面接 (1グループ5人程度: 受験者数により若干増減します)	内容	志望動機や、将来の目標、医療・健康・福祉に対する興味や考えなどについて質問します。医療人を目指す者としての資質・能力などを評価すると同時に、6年間の勉学に真剣に取り組む強い意思があるかなどを確認します。
所要時間	1グループ20分程度		志望動機や、将来の目標・夢などについて将来看護職者となるための素養を身につけているかを確認します。また、医療現場で起こることが想定される出来事に対して、自分の意見を述べられるかについても確認することがあります。なお、その出来事に対しての正しい判断を問うのではなく、自らの意見を合理的に説明できるかをみるものです。※医療人を目指す者としての資質・能力などを評価します。

「募集学部・学科、適性検査科目」・出題範囲 04 ★全科目「オールマークセンス方式」(1科目60分)

※選択科目は試験当日に選択可。ただし、試験開始30分後に、解答しない科目の解答用紙を回収します。 (※受験型はいずれかを選択。併願不可)

学部・学科		適性検査科目	
		1時限	2時限
●法学部	●国際学部	数学①/国語 から1科目選択	英語
●経営学部	●現代社会学部		
●理工学部	生命科学科	化学/生物 から1科目選択	英語/数学② から1科目選択
	住環境デザイン学科 理	数学②	英語
	建築学科		
	都市環境工学科		
	機械工学科		
	電気電子情報工学科	数学①/国語 から1科目選択	英語
	住環境デザイン学科 文		
●薬学部		化学/生物 から1科目選択	英語/数学② から1科目選択
●看護学部		数学①/国語 から1科目選択	英語
●農学部	農業生産学科 理	化学/生物 から1科目選択	英語/数学② から1科目選択
	応用生物科学科 理		
	食品栄養学科 理	数学①/国語 から1科目選択	英語
	食農ビジネス学科 理		
	農業生産学科 文	数学①/国語 から1科目選択	英語
	応用生物科学科 文		
	食品栄養学科 文		
	食農ビジネス学科 文		